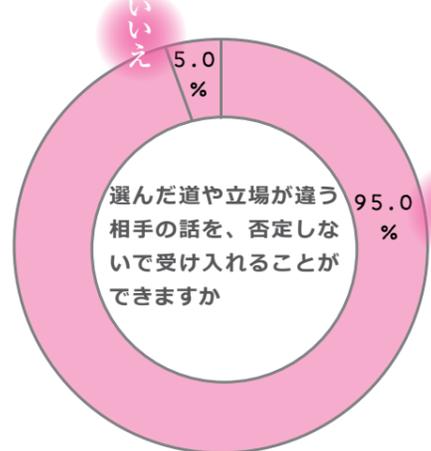
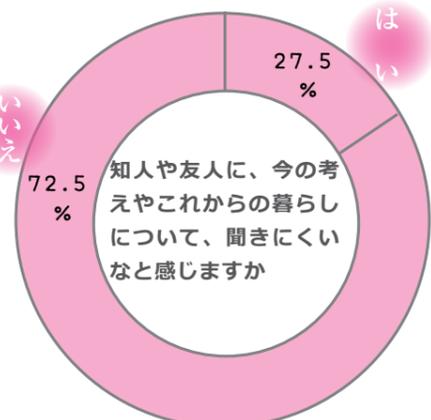
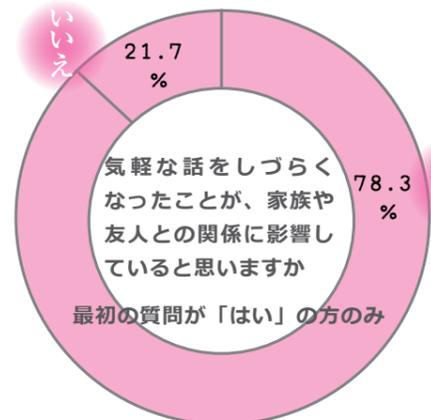
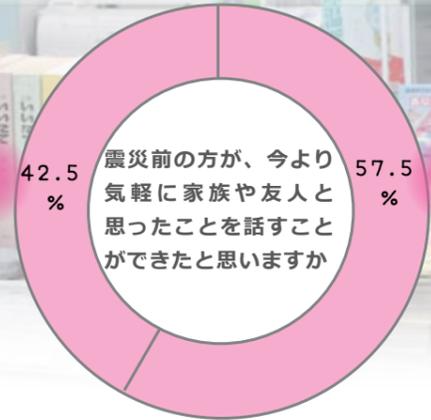


特集1 「10年後への手紙」へのお誘いによせて

お誘いによせて



村の皆さんに聞いてみました
11月16日から22日の1週間、村役場や広報の取材先でお会いした村の方40人に、対話形式のアンケートへご協力をいただきました。内容は下のグラフにある4つの質問。年代の内訳は、20代以下8人、30~40代16人、50~60代14人、70代以上2人でした。



大切な人と思いを伝え合っていますか

「飯館村は、大きな家族みたいなものだった」。そんな言葉をよく聞きます。村にいた頃は、子どもやお年寄りを地域で見守ったり、困ったら組内や仲間相談することが当たり前で、助け合いが日常としてありました。そんな村民が、大切なふろさとを離れ、多様な避難生活を送るようになりました。さらには除染や賠償の問題、地域再生の課題などに、個人も家族も地域も、悩み続けました。ふる

さとや地域を思えばこそ、意見の隔たりや立場の違いも生じていきました。慣れない避難先で閉じこもりがちになる人もあれば、夫婦や家族間で意見が分かれるということも少なくありませんでした。

避難から丸5年が過ぎ、来春、長泥行政区以外の地域で避難指示解除が見込まれる現在。アンケートの結果をみると、震災前の状況には届かないまでも、互いの話を聞き合い、違いを素直に受け入れられるという人の多いことが分かります。

す。少数派でしたが、今も違いを「受け入れられない」という答えも率直です。一方「震災を機に親子で今後のことを話した」という人、「最近ようやく気を使わずに話せるようになった」という人もありました。

帰村後の生活に意欲的な人も、長く続いた避難生活が変化することに戸惑いや不安を感じている人もあります。互いの気持ちに耳を傾け合ってみませんか。さまざまな思いに寄り添える村に、再びゆるやかに戻っていくように。

特集1 「伝えてみませんか」 「10年後への手紙」へのお誘いによせて

P3

特集2
笑顔さんさん いいたて村文化祭 P6

報告のページ
入札結果 P16

特集3
第28回ふくしま駅伝 P8

HOPES 期待の若手
作って食べよう！
こころのぼけっと P17

復興を歩む vol.20 P10

いいたて便り
村直売所「なごみ」収穫祭ほか P18

村から課から係から



12月号の目次

教育のページ
飯館中学校の博報賞受賞ほか P12

つながるアルバム P20

ほけんとふくしのページ
きこり運動教室ほか P13

皆さんの声をお聞かせください P22

お知らせのページ
非破壊式食品放射能測定装置の使い方 P14

いいたて歳時記
ひとのうごき
編集後記 P23

仲間とともに
飯館フクラクラブ P24

飯館村デジタルアーカイブから 白石小学校の「日本縦断マラソン」(平成21年12月15日)



白石小学校が開校60周年を記念して挑戦した「めざせ！日本縦断マラソン」。児童と教職員71人が、体育の時間や放課後などに校庭を走り、鉄道路線の稚内駅(北海道)から鹿児島中央駅(鹿児島県)までの距離に相当する3012.4kmの走破を目指しました。9月にスタートして3か月余り。ついに迎えたゴールの瞬間です。